

「相手の世界、認めて」

沖縄市 認知症理解へ劇・講演

【沖縄】「認知症見守る地域につながる絆」講演会(主催・沖縄市、共催・認知症の人と家族の会、認知症の人と家族の会(真支部))が20日、沖縄市福祉文化プラザで開かれた。約70人の市民や福祉関係者が集い、寸劇や講演を通して、自分が認知症になった時も暮らせる街か、認知症のある人も家族も住みやすい地域づくりは何かを考えた。

中部地域で認知症の人や家族を支援する活動をしている仲里宏淳さんは「驚かせない、急がせない、プライドを傷つけないの三つの『ない』が大事だ」と語った。

寸劇では、1人で外出していた認知症のある高齢者と、地域の人が街で遭遇した場面を演出し、

対応方法などを説明した。認知症は昔の記憶は鮮明だが、近い出来事を忘れる傾向もある。例えば「否定せずに相手の世界



街で認知症とみられる人と会う時の対応を寸劇で紹介する講演会。20日、沖縄市高原の市福祉文化プラザ

と説いた。

「急に体を触れると恐怖感を抱く」と指摘、「同じ方向に予定があるから一緒に行こう」など声を掛けると本人の遠慮や恐怖感を拭けると示した。

交通安全願いカード



名護の園児

【名護】交通安全意識を高めようと、名護署や名護地区交通安全協会は19日、屋部郵便局で「交通安全クリスマスカード作り」を実施した。市為又を

美ら島 だより

ネット ワーク

情報をお寄せください

■本社・地方連絡部

TEL 098 (865) 5166

FAX 098 (865) 5176

Eメール

chihou@ryukyushimpo.co.jp

■北部支社

TEL 0980(53)3131(代)

FAX 0980(53)5837

Eメール

nago@ryukyushimpo.co.jp

■中部支社

TEL 098(934)6500(代)

FAX 098(938)9188

Eメール

koza@ryukyushimpo.co.jp